

P R E S S R E L E A S E

三菱ふそう

三菱ふそうトラックヨーロッパ(MFTE)のトラマガル工場が 設立60周年

2024年3月19日

- ポルトガルの周辺地域における最大級の雇用主として操業
- MFTE は欧州向けの FUSO 車両を 40 年以上製造。現在は「キャンター」と「eCanter」を生産
- 2023 年、MFTE は過去最多となる約 11,800 台を製造

三菱ふそうトラック・バス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長・CEO:カール・デッペン、以下 MFTBC)は、100%子会社である三菱ふそうトラックヨーロッパ(Mitsubishi Fuso Truck Europe S.A.、本社:ポルトガル・トラマガル、社長:アーネ・バーデン、以下 MFTE)のトラマガル工場が設立60周年を迎えたことをお知らせします。

トラマガル工場は周辺地域における最大級の雇用主であり、2023 年にはおよそ 11,800 台のトラックを生産・販売し、同工場で過去最多を記録しました。

トラマガル工場の生産活動の歴史

稼働開始から 60 年の間に、26 万台を超える車両がトラマガルで製造されました。FUSO の小型トラック「キャンター」は 1980 年より同工場で生産されています。現在、MFTE からは欧州の 32 の市場に車両を出荷しています。

トラマガル工場はポルトガル企業の Duarte Ferreira 社と、フランスのトラックメーカーであった Berliet 社の合併企業として、1964 年に設立されました。

設立当初は、ノックダウン生産を行っており、FUSO ブランドも 1980 年に加わりました。1980 年以降、ポルトガル市場向けの FUSO の小型トラック「キャンター」、FUSO の中型トラック、三菱自動車のピックアップトラック「L 200」、バン「L 300」、SUV「パジェロ」を生産してきました。

1990 年、同工場は三菱自動車ポルトガル社に買収され、1996 年には三菱自動車工業株式会社が同工場を引き継ぎ、FUSO の「キャンター」専業とすることを決定しました。2004 年にはダイムラー社(当時)が MFTBC の筆頭株主となったことに伴い、同工場はダイムラーグループの一員となりました。

2017 年に、同工場は欧州市場向けに FUSO の電気小型トラック「eCanter」の生産を開始しました。現在も、「eCanter」新型モデルの生産を行っています。

サステナブルな生産活動のロールモデルとして

トラマガル工場は 2022 年に、工場構内の太陽光発電設備などによって、生産活動のカーボン

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市中原区大倉町 10 番地 〒211-8522 Tel 044-330-7701 Fax 044-331-6888

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

10 Ohkura-cho, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 211-8522, Japan
Corporate Communications/Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-331-6888

ニュートラル化を達成しました。同工場は環境対策を継続的に見直すことで、二酸化炭素(CO₂)の削減量が工場から排出される CO₂ を上回る「クライメートポジティブ」な工場となることを目指しています。

もう一つのサステナビリティへの取り組みとして、水使用量の削減にも取り組んでいます。同工場の新しい水処理設備は、生産サイクルで排出される水の 60%以上を再利用できます。

何世代にもわたって「選ばれる会社」に

トラマガル工場では、一家が何世代にもわたって勤務することは珍しいことではありません。3 世代、4 世代にわたってトラマガル工場に勤務する従業員もいます。

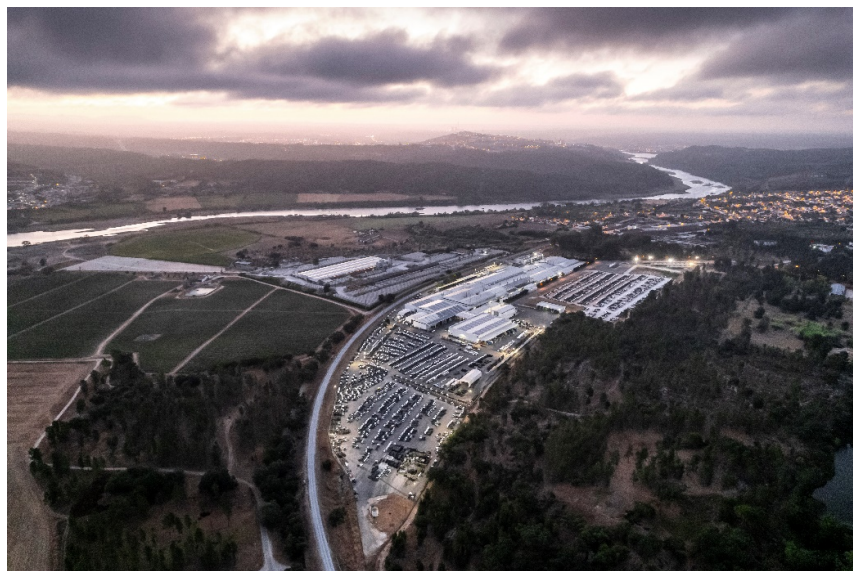
「たくさんの変化を目の当たりにしてきましたが、結局、私たちはここでトラックを作っています」と話す購買部長のパウロ・シマンは、祖父と父が同工場で働いており、息子のミゲルも設備保全を行っています。

この理由は、MFTE が業界の変化に合わせた新しいスキルを従業員に提供してきたからにほかなりません。

2023 年には、MFTE はポルトガルのトマル工科大学と、MFTE の従業員にトレーニングを提供するパートナーシップを結びました。

この新しいトレーニングプログラムは、周辺地域の若い技術者たちに、e モビリティや生産技術の知識を磨くことによって、キャリアアップの機会を提供することを目指しています。このプログラムは 2024 年後半の開始を予定しています。

MFTE のトラマガル工場



以上

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市中原区大倉町 10 番地 〒211-8522 Tel 044-330-7701 Fax 044-331-6888

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

10 Ohkura-cho, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 211-8522, Japan
Corporate Communications/Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-331-6888

三菱ふそうトラック・バス株式会社について

三菱ふそうトラック・バス株式会社(MFTBC)は、ダイムラートラック社が 89.29%、三菱グループ各社が 10.71%の株式を保有し、川崎市に本社を置く商用車メーカーです。90 年以上の歴史を持つ FUSO ブランドの、小型、中型、大型トラックやバス、産業用エンジンを含む製品を世界約 170 の市場向けに開発・製造・販売しています。2017 年、初の量産型電気小型トラック「eCanter」を市場に導入し、2019 年には、日本の商用車市場のベンチマークとなる、SAE レベル 2 相当の高度運転支援技術を搭載した大型トラック「Super Great」を商用車メーカーとして初めて日本に導入しました。MFTBC は、ダイムラー・インディア・コマーシャル・ビークルズ社(DICV)とともにダイムラー・トラック・アジアの一員として、製品開発、部品調達、生産などの分野で協力し、お客様に最高の価値を提供しています。

FUSO ブランドについて

「FUSO」はダイムラートラックのブランドの一つです。世界約 170 の市場において小型、中型、大型のトラックやバスといった幅広い商用車や、産業エンジン、コネクティビティソリューションを展開しています。日本の商用車業界における象徴的ブランドであり、90 年にわたって、日本ならではの品質や熟練技術によって、効率性や安全性、快適性を追求した商品を提供してきました。特に小型トラックセグメントの商品ラインアップで評価されており、小型トラック「キャンター」は世界中の様々な市場でトップシェアを獲得しています。2017 年には日本初の量産型電気小型トラック「eCanter」を発売し、FUSO は e モビリティにおけるパイオニアとしての地位を確立しました。FUSO のブランドスローガンである「Future Together」は、私たちがお客様に対し安全かつサステナブルな輸送ビジネスを共に未来へ繋いでいくことを約束する意思が込められています。

三菱ふそうトラック・バス株式会社

神奈川県川崎市中原区大倉町 10 番地 〒211-8522 Tel 044-330-7701 Fax 044-331-6888

MITSUBISHI FUSO TRUCK & BUS CORPORATION

10 Ohkura-cho, Nakahara-ku, Kawasaki-shi, Kanagawa 211-8522, Japan
Corporate Communications/Tel +81-44-330-7701 Fax +81-44-331-6888